

教えて! ドクター

Q&A

る上室性期外収縮、心室性期外収縮等、自覚症状がない為発見されにくいものまであります。

質問の症状からは、不整脈の一つである期外収縮が考えられます。無症

状、発作頻度が少ない場合は特に現時点での治療は不要です。発作頻度が

多い方は、上室性期外収縮の場合、脳梗塞の原因となる心房細動に移行することがありますので、定期的に心臓超音波検査

半年前に24時間心電計で検査したときには心配ない、との診断でしたが心臓病の恐れはないでしょうか。



Q 「心臓病」には、心筋梗塞、拡張型心筋症、大動脈解離、弁膜症、先天性心疾患、致死的不整脈など重症なものから、検診などにより診断される僧帽弁逸脱症、特発性といわれ

による根治治療が必要になります。この様に期外収縮の中でも放置可能なものからカテーテル手術が必要になるものまで様々です。

就寝時の動悸の原因として、心臓神経症の他に気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群、高血圧症、甲状腺機能亢進症、貧血、更年期障害といった病気の可能性もありますので、詳しい検査をお勧め致します。

神戸大学医学博士。日本内科学会内科認定医。日本循環器学会循環器専門医。日本抗加齢学会正会員。高濃度ビタミンC点滴療法学会正会員。神戸大学病院や民間病院で20年以上多数の心臓ペースメーカーやカテーテル手術をはじめ、生活習慣病や人工透析にも携わる。クリニック開院以来、循環器、呼吸器疾患からエイジングケアまで幅広い年齢層の患者様が数多く来院される。



北村内科クリニック
理事長 北村 秀綱